

JVA REPORT

4

'08 APRIL
NO.127

MAIN REPORTS

- 2007年(1月~12月)統計調査報告
- 「ショップコンテスト2007」結果および表彰式の開催報告
- 「DVDユーザー調査2007」の調査結果について ~その1~

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

社団法人 **日本映像ソフト協会** 会報

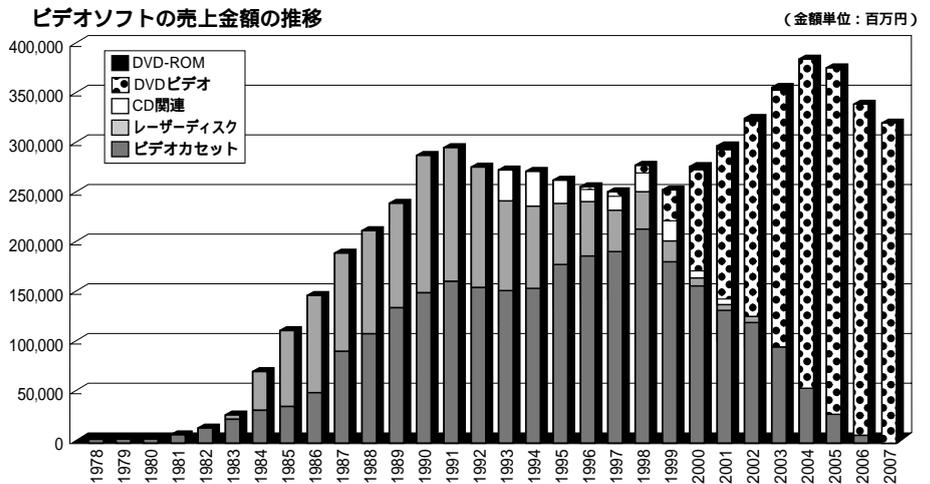


2007年(1月～12月)統計調査報告	2
「ショップコンテスト2007」結果および表彰式の開催報告	4
『DVDユーザー調査2007』の調査結果について ～その1～	8
第270、271回定例理事会開催報告	10
JVA懇親ゴルフコンペ開催のお知らせ	10
経産省から「国民運動の推進」についてのお知らせ	10
ISANに関する検討委員会	11
著作権部会	11
違法対策部会活動報告	11
不正商品対策協議会	12
リレーエッセイ⑩	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計(07年12月度、08年1月度、2月度)	14

2007年(1月～12月)統計調査報告

DVDビデオ「レンタル店用」は過去最高ながら、ソフト全体売上は96.1%

統計調査委員会(上田武二郎委員長 株ポニーキャニオン)は、2007年1月～12月のメーカー出荷統計をまとめ、3月13日(木)に記者発表会を開催、同結果について発表した。この結果は「統計調査報告書Vol.65」にまとめられ、会員社および関係団体、報道などに配布された。以下に、2007年の調査結果の概要を報告する。



概要

1. ビデオソフトの総売上は3180億2400万円で前年比96.1%となった。2004年の3753億9300万円をピークとして下降傾向が続いているが、2006年の前年比が89.2%であったのに比べると落ち込みは緩やかになっている。ビデオソフト総売上額としては過去6番目の実績となった。

2. ビデオソフトの総売上金額のうち99.8%をDVDビデオが占め、売上金額は3172億4700万円で、前年比

97.5%と前年を僅かながら割り込むこととなったが、DVDビデオの売上金額としては過去4番目の実績となった。ビデオカセットは7億7700万円でビデオソフト総売上に占める割合は0.2%となった。

3. DVDビデオの流通チャネル別売上金額では、「販売用」が65.9%、「レンタル店用」が33.6%、「その他・業務用」が0.5%となった。

「レンタル店用」は1066億2900万円で前年比104.7%、DVDビデオのレンタル店用の売上としては過去最高の

統計調査(1978年から2007年)の売上金額の推移

(金額単位：百万円)

年	回答数	関連事業の総売上	前年比	ソフトの小計	前年比	ビデオカセット	前年比	レーザーディスク	前年比	CD関連	前年比	DVDビデオ	前年比	DVD-ROM	前年比
1978	18 / 17	4,572	152.1%	2,049		2,049	102.8%								
1979	21 / 17	5,557	121.5%	2,166	105.7%	2,166	105.7%								
1980	14 / 18	7,052	126.9%	2,967	137.0%	2,967	137.0%								
1981	25 / 28	10,374	147.1%	5,273	177.7%	5,273	177.7%								
1982	33 / 31	19,313	186.2%	10,935	207.4%	10,935	207.4%								
1983	33 / 33	38,981	201.8%	26,462	242.0%	22,516	206.0%	3,946							
1984	30 / 31	82,910	212.7%	68,384	258.4%	32,669	145.1%	35,715	905.0%						
1985	40 / 46	129,891	156.7%	111,575	163.2%	37,364	114.4%	74,211	207.8%						
1986	50 / 50	163,714	126.0%	143,971	129.0%	50,427	135.0%	93,544	126.1%						
1987	51 / 52	205,017	125.2%	184,606	128.2%	87,739	174.0%	96,867	103.6%						
1988	52 / 54	229,133	111.8%	208,181	112.8%	107,815	122.9%	100,366	103.6%						
1989	56 / 53	260,807	113.8%	237,277	114.0%	129,507	120.1%	107,770	107.4%						
1990	50 / 51	309,063	118.5%	286,954	120.9%	151,304	116.8%	135,650	125.9%						
1991	50 / 51	316,410	102.4%	295,006	102.8%	158,447	104.7%	136,559	100.7%						
1992	49 / 47	291,986	92.3%	274,047	92.9%	155,150	97.9%	118,897	87.1%						
1993	48 / 47	277,716	95.1%	268,733	98.1%	152,987	98.6%	87,826	73.9%	27,920					
1994	43 / 39	279,065	100.5%	270,177	100.5%	154,822	101.2%	79,648	90.7%	35,707	127.9%				
1995	39 / 38	268,329	96.2%	260,384	96.4%	177,015	114.3%	61,727	77.5%	21,642	60.6%				
1996	39 / 40	263,934	98.4%	257,023	98.7%	186,847	105.6%	53,039	85.9%	16,789	77.6%	348			
1997	38 / 37	252,176	95.6%	246,483	95.9%	190,271	101.8%	39,928	75.3%	13,387	79.7%	2,897	832.5%		
1998	37 / 37	281,345	111.6%	277,154	112.4%	212,078	111.5%	35,868	89.8%	21,211	158.4%	7,997	276.0%		
1999	36 / 35	250,869	89.2%	247,557	89.3%	182,376	86.0%	19,592	54.6%	15,347	72.4%	30,242	378.2%		
2000	37 / 36	275,702	109.9%	274,421	110.9%	156,576	85.9%	6,632	33.9%	6,187	40.3%	104,713	346.3%	313	
2001	37 / 36			294,001	107.1%	132,554	84.7%	3,802	57.3%	4,730	76.5%	151,887	145.1%	1,028	328.4%
2002	37 / 34			324,835	110.5%	122,935	92.7%	3,157	83.0%	1,549	32.7%	197,288	129.9%	-94	ERR
2003	35 / 33			350,633	107.9%	89,832	73.1%	1,632	51.7%	1,224	79.0%	257,787	130.7%	158	ERR
2004	33 / 32			375,393	108.0%	55,631	61.9%					319,762	124.0%		
2005	32 / 34			370,860	98.8%	23,153	41.6%					347,707	108.7%		
2006	33 / 33			330,802	89.2%	5,522	23.9%					325,280	93.6%		
2007	33 / 34			318,024	96.1%	777	14.1%					317,247	97.5%		

回答数の左辺は上期、右辺は下期の回答社数。2001年よりビデオソフトの著作権収入等の「その他」の調査を削除したため、関連事業の総売上上の値はない。2004年より調査対象をビデオカセットとDVDビデオのみとした。そのため2004年のソフトの小計の前年比は、前年のビデオカセットとDVDビデオの売上の合計と比較して求めている。

ビデオソフトの売上金額と売上数量

百万円

本・枚

摘要	合計金額	構成比	前年比	合計数量	構成比	前年比
D V D ビデオ	317,247	99.8%	97.5%	96,819,940	99.7%	93.2%
ビデオカセット	777	0.2%	14.1%	337,132	0.3%	26.3%
ソフトの総売上	318,024	100.0%	96.1%	97,157,072	100.0%	92.4%

DVDビデオの流通チャンネル別売上

百万円

本・枚

	DVDビデオの売上金額			DVDビデオの売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	208,957	65.9%	94.4%	66,827,479	69.0%	87.0%
レンタル店用(個人向)	106,629	33.6%	104.7%	26,200,106	27.1%	116.0%
その他・業務用	1,661	0.5%	85.0%	3,792,355	3.9%	83.6%

DVDビデオ ジャンル別売上金額

(金額単位：百万円)

ジャンル	販売用	前年比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画(TVドラマを除く)	17,322	8.7%	80.4%	15,736	14.8%	122.4%
日本のTVドラマ	11,496	5.5%	119.1%	6,481	6.1%	119.6%
洋画(TVドラマを除く)	42,105	20.2%	92.3%	31,735	29.8%	92.0%
海外のTVドラマ	16,136	7.7%	111.8%	21,445	20.1%	166.5%
日本のアニメーション(一般向け)	58,227	27.9%	107.3%	21,535	20.2%	85.4%
海外のアニメーション(一般向け)	3,409	1.6%	65.0%	2,082	2.0%	108.2%
日本の子供向け(アニメーション)	5,030	2.4%	58.8%	4,220	4.0%	74.8%
日本の子供向け(アニメーション以外)	4,735	2.3%	136.8%	1,371	1.3%	103.1%
海外の子供向け(アニメーション)	1,195	0.6%	127.9%	333	0.3%	133.2%
海外の子供向け(アニメーション以外)	315	0.2%	87.5%	79	0.1%	32.1%
音楽(邦楽)	25,751	12.3%	84.4%	29	0.0%	40.8%
音楽(洋楽)	4,237	2.0%	77.0%	14	0.0%	87.5%
ビデオカラオケ	20	0.0%	100.0%	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	15,949	7.6%	88.7%	1,165	1.1%	96.0%
ゲーム	-3	ERR	ERR	0	0.0%	ERR
スポーツ	1,105	0.5%	60.0%	91	0.1%	239.5%
学校教育・企業教育・語学教育	138	0.1%	84.1%	10	0.0%	1000.0%
成人娯楽	230	0.1%	ERR	2	0.0%	200.0%
その他	1,560	0.8%	114.8%	301	0.3%	106.4%
計	208,957	100.0%	94.4%	106,629	100.0%	104.7%

実績となった。過去の「レンタル店用」の実績(ビデオカセットの「レンタル店用」売上を加算)と比較すると2004年、2006年、1999年に継いで4番目の実績となった。「販売用」は2089億5700万円(前年比94.4%)で、2005年をピークに前年割れが続いている。

DVDビデオの「販売用」売上金額の構成をジャンル別に見てみると、2006年において大きく前年を割り込んだ『洋画(TVドラマを除く)』が引き続き前年割れとなり(前年比92.3%)、構成比1位は前年と同じく『日本のアニメーション(一般向け)』が占めることとなった。2位に『洋画(TVドラマを除く)』(構成比20.2%)、3位に『音楽(邦楽)』(同12.3%)、4位に『邦画(TVドラマを除く)』(同8.3%)となった。

『日本のアニメーション(一般向け)』が前年比107.3%と前年を上回ったほか、『海外のTVドラマ』が同111.8%、『日

本のTVドラマ』が同119.1%と二桁の伸長となり好調だった。

数量においては、『日本のアニメーション(一般向け)』が前年を上回っている(前年比107.6%)他は、ほとんどのジャンルで前年割れとなっているが、『海外のTVドラマ』や『日本のTVドラマ』はBOXセットの出荷が多いため、数量の伸長に結びついていないと推察される。

5. DVDビデオの「レンタル店用」売上金額の構成をジャンル別に見ると、『洋画(TVドラマを除く)』が1位(構成比29.8%)、『日本のアニメーション(一般向け)』が2位(同20.2%)、『海外のTVドラマ』が3位(同20.1%)、『邦画(TVドラマを除く)』が4位(同14.8%)となった。『洋画(TVドラマを除く)』と『日本のアニメーション(一般向け)』は前年を割り込んだが、その他の主なジャンルは大きく前年を上回り、特に『海外のTVドラマ』は前年比166.5%と大きく伸長した。

「ショップコンテスト2007」結果および表彰式の開催報告

営業部会キャンペーン小委員会(清水直樹委員長 20世紀FOXホームエンターテイメントジャパン(株))では昨年11月~12月の2ヶ月間に亘り、ビデオレンタルショップの皆様の日頃の販促活動の技を競っていただき、レンタル推進全国共同キャンペーン「JVAショップコンテスト2007」を実施した。12回目となった今回もレンタルショップから多数の応募をいただき、厳正なる審査の結果、59店が受賞された。

昨年に引き続き、受賞店全店を招いての表彰式を2月20日(水)、午後12時より東京銀座にある「ホテル西洋 銀座」にて開催した。全国各地からお集まりいただ

いた受賞者の皆様は、記念撮影におさまりきれないほどの人数となり、大いに盛り上がりを見せた。日頃はなかなか出来ないショップ同士の情報交換の場となり、非常に活気のある会となった。

表彰式では、最優秀大賞を受賞した「文苑堂TSUTAYA金沢店」に表彰楯と20万円分のギフト券が、CDV-J特別賞の「チャプター・ワン生駒店」には表彰楯と15万円分のギフト券が、各エリアの最優秀店の皆さんには表彰楯と5万円分のギフト券が、各エリア優秀賞の皆さんには表彰楯と1万円分のギフト券がそれぞれ贈呈された。



受賞作品に見入る参加者



最優秀大賞に輝いた「文苑堂TSUTAYA金沢店」と気賀部会長



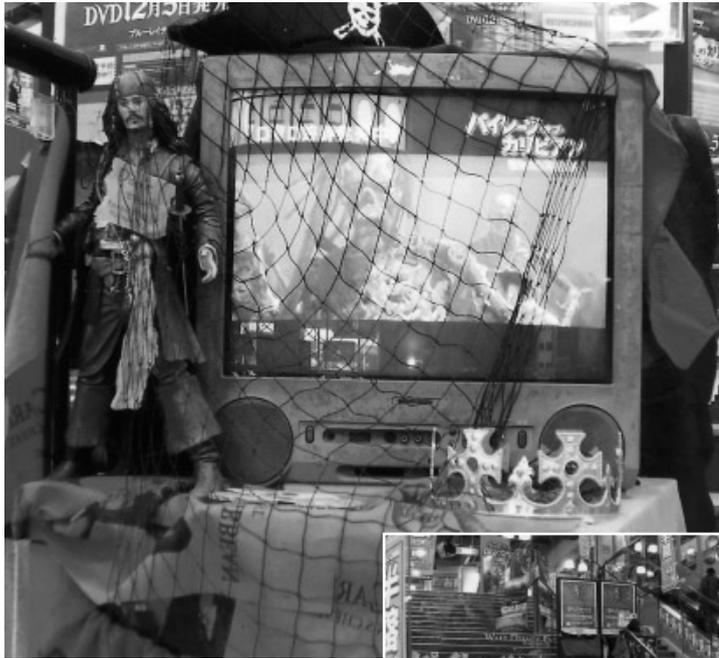
講評をする清水委員長



受賞店全員で記念撮影



最優秀大賞
文苑堂TSUTAYA金沢店



階段を最大限に生かし、お店に入った瞬間にタイトル名、キャラクターがお客様の目に飛び込んでくるよう狙いました。階段にはパソコンでプリントアウトしたA3サイズやA4サイズの用紙を少しずつ貼っていきました。階段が売り場と一体化し、うまくアピールできたと思います。

(金澤文苑堂 吉岡慎太郎さん談)



CDV-J特別賞
チャプター・ワン生駒店



鬼太郎にひっかけてお客様にお渡しできるように、目玉に似たキャンディーを探し当てました。ここで売っている物はすべてインターネットの通販で安く手に入れたものです。この他にも、お客様に喜んでいただけるアイデアを常に探しています。

(シニアマネージャー 前田富美江さん談)

北海道



エリア最優秀賞
文教堂 小樽店

「明るく、華やか」なイメージをだそうということで、女性スタッフのアイデアを採用。ピンクと白を基調とした目立つコーナーを展開しました。手作り看板は、白い板とポスターの切り抜きで、うまく立体的に見せることができました。制作費はほとんどかかっていません。

(レンタル担当 荒木茂雄さん談)



東北



エリア最優秀賞
「TSUTAYAオルモ名取店」

「パイレーツ〜」は話題作なので、劇場公開時に負けない宣伝効果を発揮するディスプレイにしたいと奮起しました。苦労したのは「軽量化」と「堅牢さ」。段ボールと廃棄する予定だった紙製の筒使用し、2.9mながら5kg未満という軽量化に成功しました。

(店長 榎木 誓さん/スタッフ 佐藤千絵美さん談)



関東

★ **関東 エリア最優秀賞**
メディアパーク十条駅前店

作品を見ている時に、コインなどの財宝が出てくるシーンが海賊っぽいなと思って、制作してみようと考えました。コインは紙粘土、木箱は段ボール。制作費はほとんどかかっていませんが、コイン1枚1枚すべて手作りですので、少しずつ作って2カ月かかりました。布と裸電球でミステリアスな雰囲気うまく出せたと思います。
(スタッフ 浅野優生さん談)



北陸・中部

★ **中部 エリア最優秀賞**
ビデオ合衆国USV豊川店

写真を拡大して段ボールに貼り付けているうち「ここにこれを置いたら、妖怪の絵を入れた方が・・・」とか「首からさげたらインパクトがあるんじゃないか・・・」と、どんどん付け足していきました。小さな店舗ですので、シンプル且つ目立つ物をと、いつも試行錯誤しています。
(店長 市川一広さん談)



関西・四国

★ **関西・四国 エリア最優秀賞**
ブックスコスモ 貝塚店

小物類でリアルさを出そうと思い、杖は自作、ほうきは100円均一のコーナーで購入。ハリー・ポッターシリーズの魅力を大きく描き、見たことのないお客様にも興味を持って頂くように制作いたしました。複合店の強みを生かして書籍コーナーにあった原作本も陳列してみました。
(主任 兒島新輔さん談)



中国

★ **中国 エリア最優秀賞**
レンタルビデオ ポパイ白島店

主役は海賊ですので、船・海賊の旗・大砲の3つで構成してみました。船の部分はスチロールの板でつくったのですが、スプレーしたら意外とよい出来になったと自負しています。限られたスペースなので、横に広がるよりも高さを出すことをポイントに、ディスプレイを制作しています。
(スタッフ 末吉 大さん談)



九州

★ **九州 エリア最優秀賞**
ビデオアメリカ 筑後店

鬼太郎=墓場ということで墓石には力を入れました。立体感・リアル感を出すために、ぬりかべ、いったんもめんは布製、中に針金を通して動きを出しました。その他、ゴミ袋製カラスを吊したり、一つ目提灯を入れてみたり。触って楽しめるディスプレイはお子様に好評でした。
(ディスプレイチーフ 安藤有里さん談)



JVA『ショッピングコンテスト2007』受賞店

賞	店舗名	住所	法人名	
最優秀大賞	文苑堂TSUTAYA金沢店	石川県金沢市	(株)文苑堂書店	
CDV-J特別賞	チャプター・ワン 生駒店	奈良県生駒市	(株)チャプターワン	
北海道	エリア最優秀賞	文教堂 小樽店	北海道小樽市	(株)文教堂
	エリア優秀賞	ビデオ100 旭川東光14条店	北海道旭川市	ユー・ファクトリー(株)
		ビデオ100 旭川永山店	北海道旭川市	ユー・ファクトリー(株)
東北	エリア最優秀賞	TSUTAYA オルモ 名取店	宮城県名取市	(株)オルモ
	エリア優秀賞	株式会社岩瀬書店 富久山店	福島県郡山市	(株)岩瀬書店
		カルチャーステーション ヤマサ 大曲店	秋田県大曲市	(株)ヤマサコーポレーション
		ビデオサテライト 角館店	秋田県仙北市	(株)サテライト
関東	エリア最優秀賞	メディアパーク 十条駅前店	東京都北区	お茶の水商事(株)
	エリア優秀賞	ロムハウス 大口店	神奈川県横浜市	(株)スピリッツ
		TSUTAYA 新丸子店	神奈川県川崎市	(株)TSUTAYA STORES
		TSUTAYA 元住吉店	神奈川県川崎市	(株)TSUTAYA STORES
		文真堂書店 榛名町店	群馬県高崎市	(株)文真堂書店
		TSUTAYA 大倉山店	神奈川県横浜市	(株)TSUTAYA STORES
		ふらみんご 中津店	神奈川県愛甲郡	(株)アイワプランニング
		BIGBEN 勝田店	茨城県ひたちなか市	(株)ショット
		レンタルDVD&コミック&CD ポバイ芝山店	千葉県船橋市	(株)サンコー
		ビデオワールド 西調布店	東京都調布市	(有)スリーポイント
		HIRASEI遊 TSUTAYA 新崎店	新潟県新潟市	(株)ひらいせーたーレインテリアハウス
		すばる書店ビビットスクエア 南船橋店	千葉県船橋市	(株)すばる
		株式会社フタバ図書 ソフトピアGIGA 大宮店	埼玉県さいたま市	(株)フタバ図書
		メガタック 新首店	埼玉県戸田市	個人経営
中部	エリア最優秀賞	ビデオ合衆国USV 豊川店	愛知県豊川市	(株)カジ・コーポレーション
	エリア優秀賞	USV 小牧店	愛知県小牧市	(株)カジ・コーポレーション
		夢屋書店 知多店	愛知県知多市	中日興業(株)
		ビデオ合衆国USV 七宝店	愛知県海部郡	個人経営
		ユニバースコーポレーション ビデオセラー 磐田店	静岡県磐田市	(有)ユニバース・コーポレーション
		TSUTAYA 弥富店	愛知県弥富市	(株)白楊
		ビデオ合衆国USV 津島店	愛知県津島市	個人経営
		USV 尾西店	愛知県一宮市	(株)カジ・コーポレーション
		ユニバースコーポレーション ビデオセラー 袋井店	静岡県袋井市	(有)ユニバース・コーポレーション
		ビデオハウスミッキー 大野店	福井県大野市	個人経営
関西・四国	エリア最優秀賞	ブックスコスモ 貝塚店	大阪府貝塚市	(株)コスモ
	エリア優秀賞	Super ラックス 榎原店	奈良県柏原市	(株)ラックス
		ビデオレンタル コスモ 九条店	大阪府大阪市	(株)コスモ
		チャーリーブラウン 沖浜店	徳島県徳島市	(株)神栄
		シャトル大津	滋賀県大津市	(有)シャトル大津
		ラックス 奈良 柏木店	奈良県奈良市	(株)ラックス
中国	エリア最優秀賞	レンタルビデオ ポバイ 白鳥店	広島県広島市	(株)よしみつ
	エリア優秀賞	ブルパーク	島根県松江市	(株)エスト
		アリオン 米原店	島根県米子市	(株)アリオン
		じゅげむ 遠石店	山口県周南市	(株)あきら
		アリオン 浜山通り店	島根県出雲市	(株)アリオン
		TSUTAYA 倉吉店	鳥取県倉吉市	(有)朝倉書店
		株式会社フタバ図書 ソフトピアGIGA 宇品店	広島県広島市	(株)フタバ書店
		TSUTAYA 安芸府中店	広島県安芸郡	スターワークス(有)
		V パークジャム 津山店	岡山県津山市	(株)JAM
		ビデオアメリカ 筑後店	福岡県筑後市	(株)アベックス
九州	エリア最優秀賞	ビデオアメリカ 合川店	福岡県久留米市	(株)アベックス
	エリア優秀賞	アイドル 諫早バイパス店	長崎県諫早市	(株)ジャル興産
		遊ING 浜町店	長崎県長崎市	(株)ひぐち
		ビデオアメリカ 下山門店	福岡県福岡市	(株)アベックス
		アイドル 早岐店	長崎県佐世保市	(株)ジャル興産
		ビデオインホワイト 有明店	鹿児島県志布志市	(有)ホワイト
		レンタルビデオ ポバイ 大橋店	福岡県福岡市	(株)よしみつ
		(有)ブックス豊後 はさま店	大分県由布市	(株)ブックス豊後
		ビデオ サンタナ 柳川店	福岡県柳川市	(株)サンタナ
		ビデオハウス ピノキオ	鹿児島県志布志市	個人経営

『DVDユーザー調査2007(映像配信と次世代光ディスクのユーザーニーズに関する調査研究)』の調査結果について ~その1~

統計調査委員会(上田武二郎委員長 ㈱ポニーキャニオン)は、一昨年と昨年の2年間に亘り、映像パッケージ市場の規模やその構造変化を明らかにすることを目的に、「DVDマーケット調査」を実施した。その間にも、めまぐるしく変化していくビジネス環境の中で、今後重要となるのは更に細かいDVDユーザーのニーズに把握であると考え、第3回目となる今回は、DVDセルおよびDVDレンタルのユーザーに調査対象を絞込み、その動向、嗜好、興味、さらに映像配信や次世代光ディスクに対するニーズや興味などについての調査結果を得ることを目的とした。

本調査結果のダイジェストは、JVAホームページで公開しているほか、会員社はもちろん、希望者に対してデジタルデータを配布している。本号と次号の2回に亘り、調査結果の概要をレポートする(映像配信と次世代光ディスクのユーザーニーズに関する調査の結果については次号の報告とする)。

なお、本調査は、前回、前々回に引き続き、(社)私的録画補償金管理協会(SARVH)の著作権制度の普及を目的とする基金から助成を受けて実施された。

調査方法

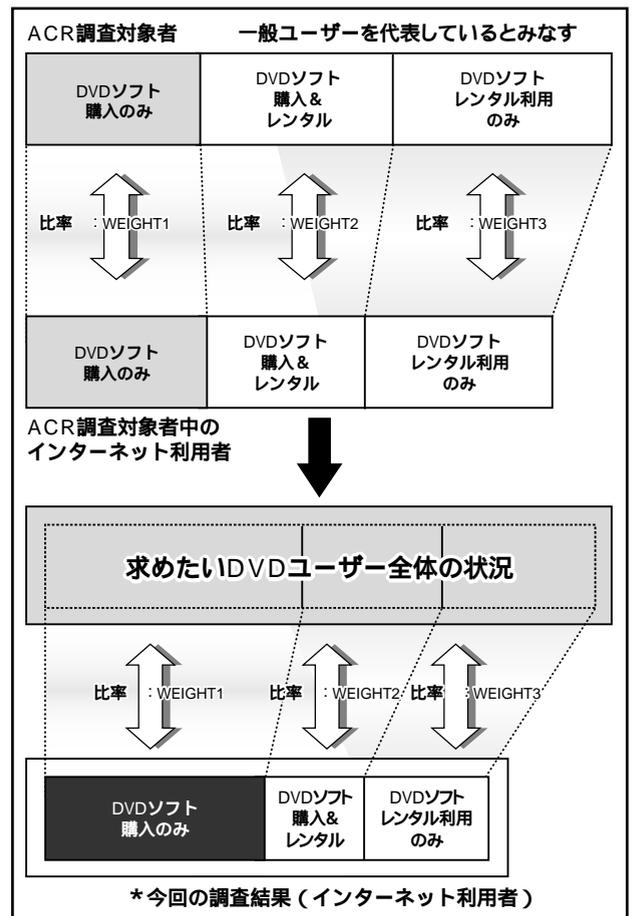
調査対象：全国に居住する16歳～69歳の男女でインターネット利用者

スクリーニング条件：2006年10月～2007年9月までの1年間に新品セルDVDを購入、またはレンタルDVDを利用した人

調査時期：2007年10月

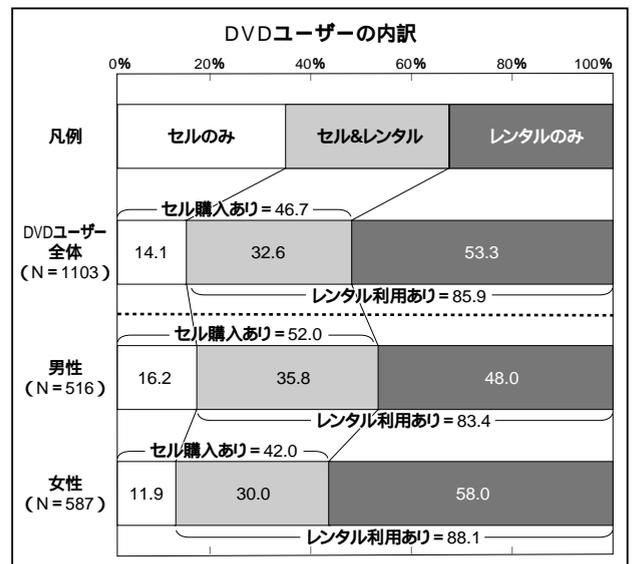
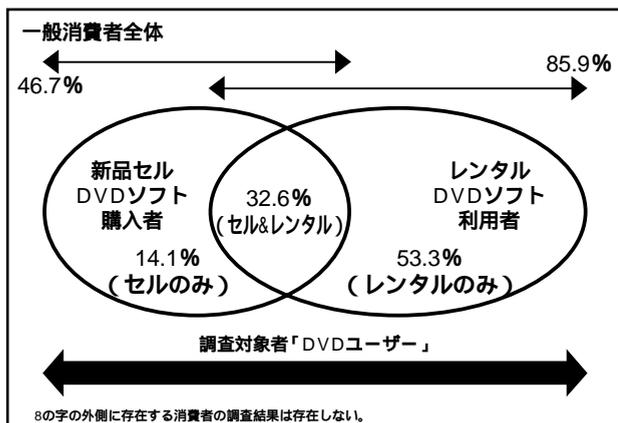
調査方法：インターネットによる調査

データ補正：本調査はインターネット利用者を対象として実施しているため、得られた回答にバイアスがかかっている。インターネットを利用していない一般個人全体を推計するために、ここから得られた回答に対し、次のような補正を行った(補正方法については、過去2回の調査と同様の手法)。



1. DVDユーザーの構造

DVDユーザーのうち46.7%がセルユーザー、85.9%がレンタルユーザー、セル&レンタルユーザーは32.6%。

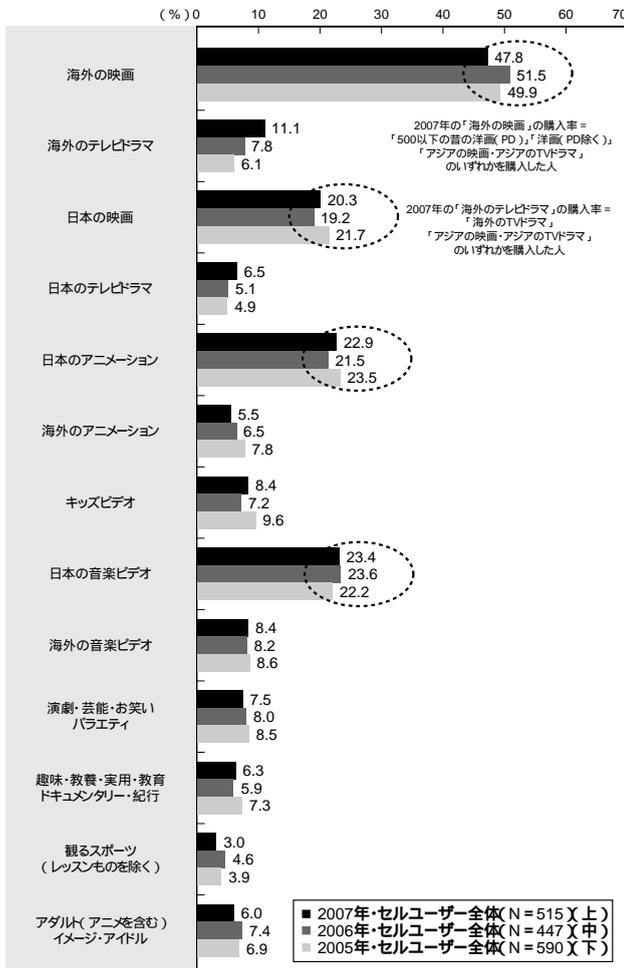


DVDユーザー調査

2. セルユーザーのジャンル別購入率

ジャンル別購入率には大きな変化はない。今回初めて調査した「500円以下の昔の映画」は12.1%、「アジアの映画・TVドラマ」は4.9%、「海外のTVドラマ(アジアを除く)」は6.5%だった。

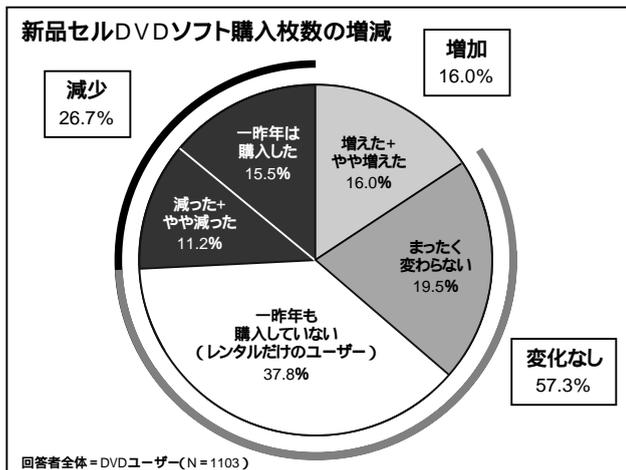
新品セルDVDソフトのジャンル別購入率(MA)



3. セルDVDの購入数の増減

「増加」16.0%、「減少」26.7%。(一昨年も購入していない人はレンタルだけのユーザーを含む)

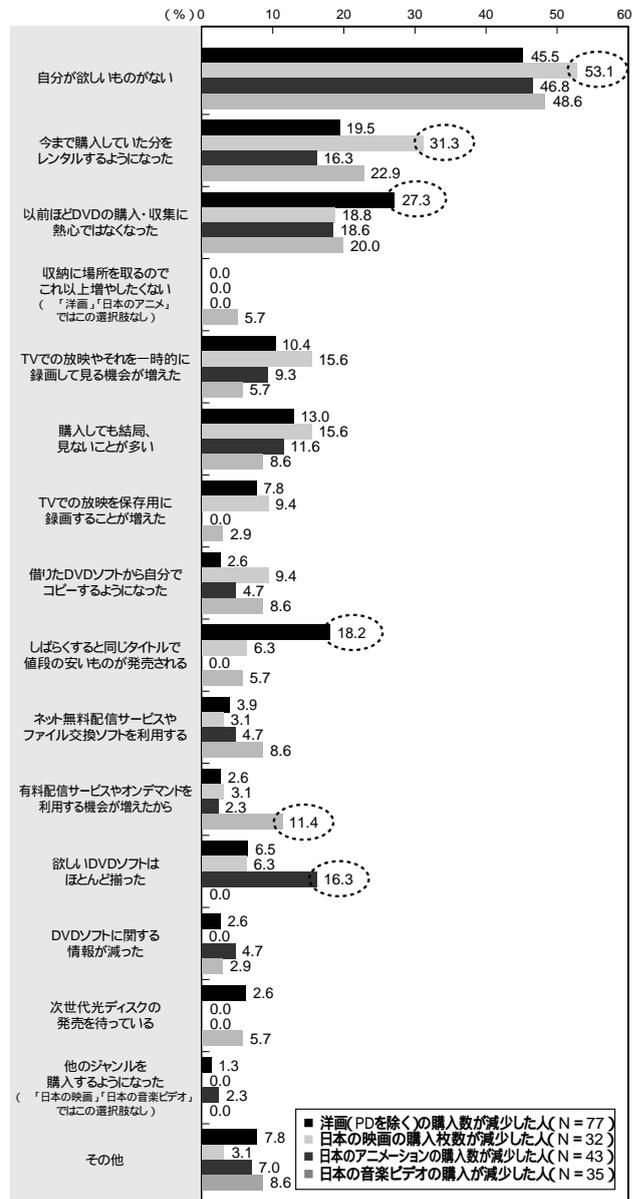
新品セルDVDソフト購入枚数の増減



4. 購入が減った理由(ジャンル別)

「自分の欲しいものがない」がどのジャンルの場合も高くなっているが、ジャンルによって下のような特徴が表れた。

新品DVDソフト購入数減少理由(MA)



各ジャンルとも、「減った」+「やや減った」と「一昨年は購入したが昨年は購入していない」人の合算

	上位に挙げた「減った理由」
洋画(PDを除く)の購入が減少した人	以前ほど収集に熱心でなくなった しばらくすると同じタイトルで値段の安いものが発売されるので買い控えてしまう
日本の映画の購入が減少した人	今まで購入していた分をレンタルするようになった TVの放送やそれを一時的に録画して見る機会が増えた
日本のアニメの購入が減少した人	欲しいDVDソフトはほとんど揃った
日本の音楽ビデオの購入が減少した人	有料配信サービスやオンデマンドを利用する機会が増えた

第270、271回定例理事会開催報告

第270回定例理事会は、2月5日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

第1号議案 平成20年度事業計画書(案)承認の件・・・承認

第2号議案 NPO法人 JAVCOM No.121セミナーに対する後援名義使用承認の件・・・承認

第3号議案 2008年度音楽著作権管理者養成講座に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第4号議案 協賛会員退会(2008年3月31日付)の件・・・承認
(退会)トエミ・メディア・ソリューションズ(株)

その他、事務局からの報告事項は次の通り。

各分会報告について、平成20年新年賀詞交歓会開催結果(確定)について、不正商品対策協議会アジア知的財産権シンポジウム2008について、2007年11月度ビデオソフト売上速報について、2007年12月度ビデオソフト売上速報について、DVD生産実績及びDVDハード出荷実績について等。

第271回定例理事会は、3月4日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

第1号議案 平成20年度収支予算書(案)承認の件・・・承認

第2号議案 社団法人映画産業団体連合会への加盟に関する件(社)映画産業団体連合会から同団体への加盟の誘いがあることを説明し、その可否について次回理事会で諮ることが了承された。

第3号議案 「IMC Tokyo 2008」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第4号議案 NPO法人 JAVCOM No.122セミナーに対する後援名義使用承認の件・・・承認

第5号議案 「サラウンドの日」に対する後援名義使用承認の件・・・承認

第6号議案 正会員退会(2008年3月31日付)の件・・・承認
(退会)㈱インプレスホールディングス

その他、事務局からの報告事項は次の通り。

各分会報告について、2007年統計調査報告書について、2008年1月度ビデオソフト売上速報について、DVDユーザー調査2007報告書について、DVDハード出荷実績について等。

JVA懇親ゴルフコンペ 開催のお知らせ

毎年恒例のJVA会員社による懇親ゴルフコンペを下のようない日程で開催いたします。既に各社の総合連絡委員の皆様宛にご案内済みとなっておりますが、お申し込みがお済みでない方がいらっしゃいましたら、管理部肥田(ひだ)までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

日 時 平成20年4月18日(金)

8時19分 アウト・インコース(同時)スタート

場 所 立野クラシック・ゴルフ倶楽部

千葉県市原市中高根1166

TEL 0436-95-1111

URL <http://www.heiwanosan.co.jp/tateno/>

経産省から「国民運動の推進」 についてのお知らせ

国民生活の安心を確保するために必要な具体的な施策として、昨年12月17日に開かれた「生活安全プロジェクト」に関する関係閣僚会合において具体的な施策がとりまとめられました。その中で、下のような「4つの国民運動」を消費者・生活者・NPO、企業、地方公共団体などと幅広い主体の参加の下、実施していくこととなり、経済産業省としても推進に向けた取り組みを進めていることから、JVAおよびJVA会員の企業の皆様へ参加の呼びかけ、周知の依頼が来ています。

< 4つの国民運動 >

1. 「食の安全・安心に関する対話」
2. 「子どもの施設の安全全国一斉総点検」
3. 「交通事故ゼロを目指す日」
4. 「青少年を有害情報環境から守るための国民運動」

関係省庁、映画・テレビ業界へ働きかけ

ISANに関する検討委員会では、引き続きISAN-RA(国際標準視聴覚作品番号の地域登録機関)としての財政基盤の確立のための検討を行なった。その結果、パッケージ産業だけでなく、広く映画・テレビ業界における理解とISAN登録の普及が不可欠との結論に至った。

この結論に基づき、映画・テレビ業界に向けISANへの理解を得るための説明を行なうこととした。また、産業界だけでなく、内閣府知的財産戦略本部を始め、総務省、経済産業省などへも働き掛けることとした。これにより、総務省情報通信政策局情報通信作品振興課からITC国際競争力会議における説明の機会を得ることもできた。また、同会議に参加していなかった、フジテレビジョンとTBSテレビ、更にNHKには、別途説明を行なうこととした。

これまでに説明を実施したのは、下記の通り。

2008年1月11日 内閣府知的財産戦略本部事務局

2008年1月21日 デジタル時代の著作権協議会(CCD)
「著作権ビジネス研究会」

2008年1月25日 総務省情報通信政策局 情報通信作品振興課

2008年2月5日 経済産業省商務情報政策局 文化情報関連産業課

2008年2月14日 ITC国際競争力会議デジタル放送分科会

2008年2月27日 フジテレビジョン 編成制作局 知財情報センター著作権部

2008年3月12日 TBSテレビ 事業本部 コンテンツ事業局映像事業センター
NHK ライツ・アーカイブスセンター
及び総合企画室

「CSS」の著作権法上の位置づけについて文化庁に要望

当協会は、去る3月12日、DVDビデオに用いられているCSS(Content Scramble System)を著作権法上の技術的保護手段と位置づけることを、文化庁に要望した。

著作権審議会マルチメディア小委員会以来、CSSは、審議会において「著作権等の侵害を防止又は抑止手段」に該当しないとされてきた。その主たる根拠は、CSSは視聴を制御する技術であり、視聴は著作権法上の支分権の対象ではない、ということに基づく。ところが、昨年10月に公表された「文化審議会著作権分科会私的録音録画小委員会中間整理」では、CSSを複製権を実質的に制限する「著作権保護技術」と位置づけた。著作権法上の技術的保護手段には、著作権等の侵害の「防止」手段だけでなく「抑止」手段も含まれる。そして「抑止」とは、著作権等侵害「行為それ自体は止めないものの、その結果に著しい障害を生じさせること」(*1)をいう。CSSが実質的に複製を制限するというのであれば、複製抑止効果にあたるはずであるから、中間整理はCSSの著作権法上の位置づけの変更を意味するのではないかという期待もあった。

残念ながら、そのような変更を意味するものではないとのことであったが、CSSが実質的に複製を制限する技術であることが「私的録音録画小委員会」で肯定されたことは、「著作権等侵害行為の抑止手段」であるとの当協会の従来からの主張を力づけるものである。

当協会では今後も、専門家の協力を仰ぎつつ、粘り強く要望していくことにしている。

(*1)加戸守行「著作権法逐条講義 五訂新版」

(2006年 著作権情報センター)60頁

違法対策部会

ANTI-PIRACY

セルDVDのレンタル転用を23件、確認。違法行為の確認率は27%。

2007(平成19)年12月から2008(平成20)年2月の間、山形県、青森県、北海道、富山県、神奈川県、福井県、千葉県、群馬県、岩手県、大分県、熊本県、高知県、島根県、鳥取県、兵庫県、広島県、愛媛県のビデオレンタル店の調査・折衝を行った。調査結果は、廃業等44店を除き、実質的に営業が確認された85店のうち23件の違法行為が確認された。この23件とも全てセル用DVDのレンタル転用であった。違法行為の確認率は27%。

また、この期間中の刑事告訴の事件数は1件で、神奈川県伊勢佐木警察署が著作権法違反の疑いで横浜市内の韓国食品・雑貨販売およびビデオ販売業の男を逮捕し、海賊版VHS500本を押収している。

2007年11月～2008年2月実績

調査店数	129店
営業店数	92店
違法行為 確認件数	海賊版所持 0件 DVD、VHSセルのレンタル転用 23件
海賊版確認数	0枚
刑事告訴事件数	1件
警察による海賊版押収数	VHS 500本
違法行為確認率	27%
廃業率	34%

調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版・サンプル版頒布所持			セルDVDの レンタル転用	セルVHSの レンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	許諾店	確認数	回収数		
山形県	12		8				5	
青森県	6						3	
北海道		1						
富山県	1							
神奈川県	1						1	
福井県	8		1					
千葉県	5	1	2				2	
群馬県	1						1	
岩手県	18		8				2	
大分県	1							
熊本県	4	1					2	
高知県	3						2	
島根県	2						1	
鳥取県	2							
兵庫県		1						
広島県	13	2	25				4	
愛媛県	1	1						
合 計	78	7	44	0	0	0	23	0

アジア知的財産権シンポジウム2008 「注目されるアジア～知的財産の成長～」開催報告

不正商品対策協議会(ACA)は、3月7日(金)日経ホールにて「アジア知的財産権シンポジウム2008」を開催した(共催:日本経済新聞社 後援:知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省)。記念すべき第10回目となる今回のシンポジウムは、企業の知財担当者や一般消費者など聴講者400名を超える盛況なものとなった。

開催内容は、以下のとおり。

開催日時 2008年3月7日(金) 13:30~17:30

メインテーマ 「注目されるアジア～知的財産の成長～」

主催: 不正商品対策協議会、日本経済新聞社

後援: 知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省

特別協力: コンテンツ海外流通促進機構(CODA)

開催内容(出演者/敬称略)

- (1)主催者挨拶:不正商品対策協議会代表幹事 高井英幸
- (2)挨拶:警察庁 生活安全局長 片桐 裕
- (3)キーノートスピーチ「知財立国への道～回顧と展望～」
荒井寿光(知財評論家・初代知的財産戦略推進事務局長)
- (4)レポート「我が国の知的財産権侵害事犯の現状」
警察庁生活安全局 知的財産権保護対策官 大塚 尚
聞き手 弁護士/ACA監事 前田哲男
- (5)アジア知的財産権シンポジウム10回記念「10回を振り返って」
アジア知的財産権シンポジウム運営委員長 入江雄三
- (6)パネルディスカッション「中国における知的財産権保護の実態について」

MPAアジア太平洋地域代表
M・エリス氏



パネルディスカッション



プロローグ MPAアジア太平洋地域代表 マイク・エリス
BSAアジア海賊版対策ディレクター タルーン・サウニー

TMI総合法律事務所 外国法事務弁護士 何 連明
(株)手塚プロダクション代表取締役社長 松谷孝征

トヨタ自動車(株) 知的財産部長 江崎研司

JETRO在外企業支援・知的財産部部长 福良俊郎
(CODA事務局長)

モデレーター 弁護士/ACA監事 遠山友寛

なお、このシンポジウムの模様は、例年通り日本経済新聞で4月に特集記事として掲載される。



会場に展示された本物・偽物



不正商品対策協議会(ACA) 定時総会開催報告

不正商品対策協議会の平成20年度(第23期)定時総会は、3月24日(月)午後5時より、銀座東武ホテルにおいて開催された。

高井英幸代表幹事(JVA会長)の議事進行により、

第1号議案 平成19年度事業報告及び平成19年度決算報告承認の件

第2号議案 平成20年度事業計画及び平成20年度収支予算承認の件

の議案が諮られ、原案どおり全会一致で承認された。



リレーエッセイ 70

コロムビアミュージックエンタテインメント㈱代表執行役社長 廣瀬禎彦氏からのご紹介

加藤 裕一 氏 (ビクターエンタテインメント㈱代表取締役社長)

「趣味と言えば・・・」

このたび、リレーエッセイのご指名をコロムビアの廣瀬社長より受けましたが、今まで掲載された方々のエッセイのように高尚なものは書けないし、「はて？何を書いたらよいのか」と思い悩んでおりましたが、自己紹介のつもりで、平凡ではありますが、趣味についてお話をさせていただきます。

私の趣味と言えば・・・以前、このコーナーで「プロ野球観戦と散歩」と答えていた方がいらっしゃいましたが、私も同じように「プロ野球観戦」と「犬の散歩」なのです。

小学生の頃からお小遣いで買っていた雑誌が、少年サンデーや少年マガジンではなく、週間ベースボールマガジンで、テレビも漫画より野球の方が好きな少年でした。思い返せばその頃、東京生まれの私は、近所の友達同様巨人ファンで、そして好きな選手は王と堀内。でも、当時あまり中継のない地方球団なのに、雑誌に載っている外木場がとっても新鮮で、そして1969年に入団した山本浩二が台頭してくると、すっかり彼のファンになっていました。しかし、当時私の周りを見回してみても、誰一人としてカープファンはおらず、好きな選手や球団を聞かれると、思わず「巨人」と答えてしまう小学生でありました。

中学生になり、今度は誰が広島ファンはいるだろうと思っていたら・・・いました！中学校の中で一番のガキ大将が何とカープファン。いきなり彼と意気投合し、お蔭様で、私は一切彼の庇護のもと誰からもいじめにあわずに過ごしました。

そして・・・忘れもしない1975年。前年最下位から、オールスターで山本浩二と衣笠が赤ヘル旋風を巻き起

こし、一気に優勝へ！歓喜+歓喜の嵐でありました。ちょうど高校にあがったばかりでありましたが、その時の感激は今でも忘れることができません。

その後、大学時代は広島戦限定した神宮球場でのナイト、ビクターに入ってから地方勤務は嫌と言いなながらも「広島ならばOK」という訳のわからない勤務地希望。もちろん、それは叶いませんでしたけど・・・。そして、今もおカープファンであり続けています。

一方「犬の散歩」ですが、ちょうど13年前に巡り会った一匹の雑種から、私の生活が変わりました。まず、起床したら愛犬を連れて散歩をするようになったこと。それも毎日です。雨でも雪でも台風でも・・・さすがに出張中や風邪を引いて寝込んでいる時は別ですが、二日酔いや早朝帰宅の時も必ず朝は散歩に連れて行きます。もう13年にもなりますが、これだけ継続できているのは、正直自分でも驚きです。そして散歩によって、朝食を食べるようになったこと。小さい頃から朝食を食べると必ず途中でお腹が痛くなり、食欲もわかない為、数十年間食えることが出来なかった私が、犬の散歩によって生活習慣が変わったのです。また、数年前から始めた一眼レフのカメラも、ラゲッジルームが広いことがマイカーの絶対条件であることも愛犬のためです。

犬は沢山の愛情を注げば、それ以上の愛情を返してくれます。たまにいたずらはしますが、それはご愛嬌。いつも可愛い笑顔で振る舞い、落ち込んでいても癒してくれます。もはや生活になくはならない存在です。そして昨年、我が家に妹が加わり、今は13歳になった雑種とまだ半年になったばかりのチワワが、毎日私の帰りを待っていてくれます。

日誌に見る協会の動き

【1月】

- 4日 仕事始め
- 9日 新年賀詞交歓会
- 10日 動画共有対策会議
関西地区連絡協議会新年会
- 11日 中部地区連絡協議会新年会
- 16日 JASRAC委員会
- 17日 統計調査委員会
東北地区連絡協議会新年会
- 18日 業務使用対策委員会
- 21日 映像倫理協議会運営委員会
- 22日 私的録音補償金問題委員会
九州地区連絡協議会新年会
- 23日 権利者団体対応委員会
キャンペーン小委員会
- 25日 ACA調査研究部会
ACA企画広報部会
- 30日 権利者団体対応委員会
- 31日 業務部会幹事会

【2月】

- 5日 理事会
- 7日 統計調査委員会
レンタル運用委員会
動画共有対策会議
- 8日 業務使用対策委員会
- 12日 権利者団体対応委員会
総合連絡委員会
- 20日 権利者団体対応委員会
2007年JVAショップコンテスト表彰式
マーケティング委員会
- 21日 著作権部会
- 22日 統計調査委員会
- 25日 ACA調査研究部会
ACA企画広報部会
- 26日 私的録音補償金問題委員会
- 28日 業務部会幹事会

【3月】

- 4日 理事会
- 5日 権利者対応委員会
中国地区連絡協議会
- 7日 ACAアジア知的財産権シンポジウム(日経ホール)
- 11日 総合連絡委員会
- 13日 統計調査報告書記者発表
権利者団体対応委員会
マーケティング委員会
- 17日 権利者団体対応委員会
- 18日 業務使用対策委員会
- 19日 消費者委員会
- 24日 映像倫理協議会運営委員会
ACA総会(銀座東武ホテル)
- 26日 DVDユーザー調査結果会員社向け報告会
- 27日 業務部会幹事会
- 28日 法務打合せ
DVDユーザー調査結果 記者発表会

統計

2007年12月度

	12月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)									1月～12月の累計										
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	対報告書Vol.63	数量	構成比	前年同期比	対報告書Vol.63	新作数	前年同期比	対報告書Vol.63
販売用	25,240	68.3%	81.7%	8,113	72.3%	84.7%	1,012	105.1%		209,733	66.0%	94.4%	94.7%	67,170	69.3%	86.9%	87.5%	9,885	102.1%	102.0%
レンタル店用	11,605	31.4%	124.4%	2,904	25.9%	127.4%	688	93.0%		106,499	33.5%	103.9%	104.5%	25,979	26.8%	114.2%	115.0%	6,398	92.7%	92.8%
その他・業務用	104	0.3%	78.8%	205	1.8%	69.2%	17	850%		1,633	0.5%	81.0%	83.6%	3,793	3.9%	82.5%	83.6%	41	78.8%	83.7%
DVDビデオ	36,949	99.9%	91.6%	11,222	100.0%	92.3%	1,717	100.7%	増減 16社 14社 その他 3社	317,865	99.8%	97.3%	97.7%	96,942	99.7%	92.6%	93.3%	16,324	98.1%	98.1%
カセット	37	0.1%	18.6%	6	0.0%	13.5%	3	4.8%	増減 1社 12社 その他 3社	786	0.2%	14.2%	14.2%	336	0.3%	26.1%	26.2%	141	11.4%	11.2%
合計	36,986	100.0%	91.2%	11,227	100.0%	92.0%	1,720	97.3%		318,651	100.0%	95.9%	96.3%	97,278	100.0%	91.8%	92.5%	16,465	92.2%	92.0%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 33社) 無回答社..... 2社 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
 2007年7月度より、カセットのルート別調査は中止 累計値については、1月～6月の数値として2007年上半期調査の数字を用いている
 2006年の最終確定値との比較を「対報告書Vol.63」欄に示している。
 累計数字は1月～12月の速報値の累計のため、2007年の統計報告 (Vol.65) の確定値と比べて誤差が生じている点に注意

2008年1月度

	9月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)									1月～9月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	13,312	68.3%	78.4%	3,817	69.0%	77.8%	626	73.6%		13,312	68.3%	78.4%	3,817	69.0%	77.8%	626	73.6%
レンタル店用	6,131	31.5%	88.2%	1,696	30.7%	125.9%	720	169.4%		6,131	31.5%	88.2%	1,696	30.7%	125.9%	720	169.4%
その他・業務用	48	0.2%	55.2%	21	0.4%	12.4%	78	1950%		48	0.2%	55.2%	21	0.4%	12.4%	78	1950%
DVDビデオ	19,491	99.9%	81.2%	5,533	99.9%	86.2%	1,424	111.3%	増減 15社 15社 その他 3社	19,491	99.9%	81.2%	5,533	99.9%	86.2%	1,424	111.3%
カセット	17	0.1%	14.8%	5	0.1%	19.6%	4	12.9%	増減 0社 8社 その他 5社	17	0.1%	14.8%	5	0.1%	19.6%	4	12.9%
合計	19,508	100.0%	80.8%	5,539	100.0%	85.9%	1,428	109.0%		19,508	100.0%	80.8%	5,539	100.0%	85.9%	1,428	109.0%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 33社) 無回答社..... 2社
 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合

2008年2月度

	2月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)									1月～2月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	17,387	63.6%	121.2%	4,694	61.0%	110.3%	768	117.6%		30,699	65.6%	98.0%	8,511	64.3%	92.9%	1,394	92.7%
レンタル店用	9,877	36.2%	126.1%	2,976	38.7%	159.3%	500	126.6%		16,008	34.2%	108.3%	4,672	35.3%	145.3%	1,220	148.8%
その他・業務用	53	0.2%	26.5%	26	0.3%	8.0%	7	350.0%		101	0.2%	35.2%	47	0.4%	9.5%	85	1416.7%
DVDビデオ	27,317	99.9%	122.1%	7,697	100.0%	119.3%	1,275	121.4%	増減 20社 10社 その他 3社	46,808	99.9%	100.9%	13,230	99.9%	102.8%	2,699	115.9%
カセット	24	0.1%	23.1%	3	0.0%	10.6%	4	23.5%	増減 1社 7社 その他 4社	41	0.1%	18.7%	8	0.1%	15.4%	8	16.7%
合計	27,341	100.0%	121.7%	7,699	100.0%	118.9%	1,279	119.9%		46,849	100.0%	100.5%	13,238	100.0%	102.4%	2,707	113.9%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 33社) 無回答社..... 2社
 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合

社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名（五十音順） 2008年4月1日現在

■ 正会員（34社）

(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング(株)
(株)エスピーオー
(株)NHKエンタープライズ
角川映画(株)
(株)角川エンタテインメント
(株)角川書店
カルチュア・パブリッシャーズ(株)
(株)ギャガ・コミュニケーションズ
キングレコード(株)
ジェネオンエンタテインメント(株)
(株)小学館
(株)ショウゲート
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
バラマウント ジャパン(株)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
(株)メディアファクトリー
ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン(有)
ユニバーサルミュージック(株)
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

■ 協賛会員（22社）

(株)アイ信
(株)一丸堂印刷所
(株)IMAGICA
ヴィジョネア(株)
(株)オプトロム
(株)キュー・テック
(株)金羊社
KDDI(株)
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニーPCL(株)
大日本印刷(株)
(株)東京現像所
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
(株)トーハン
東洋レコーディング(株)
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
(株)富士フィルムメディアクレスト
メモリーテック(株)